

## I. 調 査

## 1. 高校普通科の教育課程類型と進路

## 状況

—愛知県（尾張学区）を中心に—

## 1. 高校普通科の問題点

ここにち、全国的には72%をこえた高校進学率の急速な上昇の中で、さらに高校在籍者の60%をしめる普通科の教育のかかえている問題は多い。それは、いわゆる量的拡大の中で、普通の生徒にいかにして高い質の教育を保障するかという困難な課題を背負っている。その問題の一端は「高校普通課程における生徒の学習上の問題点」（名大附属学校紀要第10集に収録）として名古屋市内の公立高校5校を抽出して、共同の調査を行なった。それは主に生徒の側から見た学習上の困難点等について調べたものである。その場合明らかになった一つの大きな問題点として、約14%の生徒が主要な教科（数・物・英など）について「全くお手上げである」という。だからこそ「困っている科目について、わかり易く教えて欲しい」という要求が強かった。

ここではさらに現行の教育課程類型を進路状況との関連で、愛知県の例を中心に分析考察することとした。（調査資料は愛知県立高校（尾張部）普通科について、各校の昭和41年度「学校管理案」にもとずき類型を整理し、進路状況等を集計したものである）

## 2. 分析の方法と結果

三河部を除く愛知県立高校（普通科）の26校について、その教育課程の類型をまとめてみると次の通りである。

地 区	類 型	名古屋			計
		名古屋	尾張	知多	
①	B—B—B	5	1	1	7
②	B—B— $\begin{pmatrix} A \\ B \end{pmatrix}$	2	1	1	4
③	B— $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$	3	9	3	15
計	B及びAB類型の計	10	11	5	26

①は代表的なB類型で、いわば3年を通じてB類型1本で通す型。

②は1・2年はB共通で、3年でA（就職希望者向き）とB＝進学希望者向きに分かれる型

③は1年のみ共通、2年から、A及びB類型に分化。

以上のいずれかの型にあてはまる。もっともBをB<sub>1</sub> B<sub>2</sub>として、文科系進学向き、と理科系進学向きに分かれる場合もある。一般にかなり画一的傾向が強く、教育課程編成について弾力的な組み方の例は少ない。さらに中には＜表2＞のNo.10の学校のように週35時間を教科の学習に、L・Tホームルームを第7時限にもってきたり、No.17の学校のように、B類型をさらに4つのコース（高3）にわけている例もみられるが、それらがほとんど進学のための編成であることはいうまでもない。

＜表1＞にみとめられるように、名古屋市内ではその半数（5/10）がB類型一本であり、名古屋周辺の尾張部では③の型が圧倒的に多い（9/11）。一般に大都市部の高校にB類型一本が、周辺部の農村地域や小都市の高校ではA・B類型の学校が多くなっている。

所で＜表2＞には各学校別に教育課程の類型と、進学・就職・浪人（OB）の実数（分母は卒業生数）と%を示している。（いずれも昭和41年3月卒業者にについて）

この表からほぼ次の諸点が指摘し得るであろう。

(ア) 一般にB類型1本型は世評にいう一流校であり一流校ほど浪人数も浪人輩出率も高い。（例えばNo.1～3の学校一特に男子にいちじるしく、OB率49.1%）もっともこれはB類型1本だから必然的にOB率が高くなるというより、愛知県においては大学区制その他によって、学校の格差と序列があり、所謂大学道学一流校ほど、難しい大学を志望して、有名大学への合格者も多いが、その浪人も多いことを示している。

(イ) 就職率の高い学校ほど一般にOB率は低い。（No.12の学校では男女とも浪人なし、就職率男子67.7%、女子75.8%である）そして、世評にいう三流校ほど浪人が少く、従ってOB率も低い。もっともそのことと教育課程類型の関係を直接に結びつけることは無理であるが、それらの学校は一般に③のB— $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$ 型を採用していることが認められる。同様にこれらの学校ほど教育課程の編成に苦心している。

(ウ) 周辺校（特に名古屋市の外）ほど、男女とも就職率は高く、OB率は低い。

＜表3＞は3類型別に進学率・就職率・浪人率を比較したものである。ここでもほぼ次のことがいえるであろう。即ち男子について、浪人率は①のB類型1本型が最も高く、③が最も低くなる。就職率は①＜②＜③型となる。女子については、浪人率は必ずしも①が高くなく、①＜②＞③となり、進学率は①＞②＞③、

就職率は逆に①<②<③となっている。

以上、ここでみた限りにおいては、教育課程の類型と進路状況は一定の傾向性をもっているが、逆に一定の進路傾向から各学校の教育課程の類型が規定されて

いる。それにしても教育課程がその主因でないにしても、B類型1本型（実は進学有名校）に浪人率の高いことは大きな問題を含んでいるというべきであろう。（高森）

<表2> 愛知県立高校教育課程の類型（普通科）一

<名古屋市内>

学番 校号	教育課程の類型 ( )内は クラス数	進 学				就 職				OB (浪人)			
		m	%	f	%	m	%	f	%	m	%	f	%
1	B	$\frac{272}{554}$	49.1	$\frac{73}{107}$	68.2	$\frac{0}{554}$	0	$\frac{11}{107}$	10.3	$\frac{277}{554}$	49.1	$\frac{27}{107}$	25.2
2	B	$\frac{319}{566}$	56.4	$\frac{111}{141}$	78.7	$\frac{4}{566}$	0.7	$\frac{13}{141}$	9.2	$\frac{243}{566}$	42.9	$\frac{16}{141}$	11.3
3	B	$\frac{229}{462}$	49.6	$\frac{56}{82}$	68.3	$\frac{6}{462}$	1.3	$\frac{9}{82}$	11.0	$\frac{227}{462}$	49.1	$\frac{17}{82}$	20.7
4	(B) — $\begin{cases} A-A \\ B-\{B_1 \\ B_2 \end{cases}$	$\frac{153}{328}$	46.6	$\frac{27}{241}$	11.2	$\frac{106}{328}$	32.3	$\frac{157}{241}$	65.1	$\frac{69}{328}$	21.0	$\frac{57}{241}$	23.7
5	(B) — $\begin{cases} A-A \\ B-\{B_1 \\ B_2 \\ B_3 \end{cases}$	$\frac{247}{485}$	50.9	$\frac{71}{224}$	31.7	$\frac{92}{485}$	19.0	$\frac{113}{224}$	50.4	$\frac{142}{485}$	29.3	$\frac{38}{224}$	17.0
6	(B) — (B) — $\begin{cases} A \\ B_1 \\ B_2 \end{cases}$ (1) (5) (4)	$\frac{165}{330}$	50.0	$\frac{84}{212}$	39.6	$\frac{24}{330}$	7.3	$\frac{71}{212}$	33.5	$\frac{137}{330}$	41.5	$\frac{14}{212}$	6.6
7	(B) — (B) — $\begin{cases} B_1 \\ B_2 \end{cases}$ (7) (6)	$\frac{312}{520}$	60.0	$\frac{103}{189}$	54.5	$\frac{16}{520}$	3.1	$\frac{53}{189}$	28.0	$\frac{185}{520}$	35.6	$\frac{20}{189}$	10.6
8	(B) — (B) — $\begin{cases} A \\ B_1 \\ B_2 \end{cases}$ (3) (4) (4)	$\frac{260}{375}$	69.3	$\frac{67}{172}$	38.9	$\frac{16}{375}$	4.3	$\frac{57}{172}$	33.1	$\frac{99}{375}$	26.4	$\frac{48}{172}$	27.9
9	(B) — $\begin{cases} A-A \\ B-B_1 \\ B_2 \end{cases}$	$\frac{179}{350}$	51.1	$\frac{48}{196}$	24.5	$\frac{42}{350}$	12.0	$\frac{88}{196}$	44.9	$\frac{123}{350}$	35.1	$\frac{60}{196}$	30.6
10	(B) — B — $\begin{cases} B_1 \\ B_2 \end{cases}$	$\frac{190}{283}$	67.1	$\frac{96}{137}$	70.1	$\frac{13}{283}$	4.6	$\frac{24}{137}$	17.5	$\frac{80}{283}$	28.3	$\frac{17}{137}$	12.4

<尾張地区>

学番 校号	教育課程の類型 ( )内は クラス数	進 学				就 職				OB (浪人)			
		m	%	f	%	m	%	f	%	m	%	f	%
11	(B) — $\begin{cases} A-A \\ B-\{B_1 \\ B_2 \end{cases}$	$\frac{174}{315}$	55.2	$\frac{37}{172}$	21.5	$\frac{63}{315}$	20.0	$\frac{133}{172}$	77.3	$\frac{78}{315}$	24.8	$\frac{2}{172}$	1.2
12	(B) — $\begin{cases} A-A \\ B-B \end{cases}$	$\frac{30}{93}$	32.3	$\frac{16}{66}$	24.2	$\frac{63}{93}$	67.7	$\frac{50}{66}$	75.8	$\frac{0}{93}$	0	$\frac{0}{66}$	0
13	(B) — $\begin{cases} A-A \\ B-B \end{cases}$	$\frac{93}{229}$	40.6	$\frac{75}{251}$	29.9	$\frac{58}{229}$	25.3	$\frac{145}{251}$	57.8	$\frac{71}{229}$	31.0	$\frac{27}{251}$	10.8
14	(B) — $\begin{cases} A-A \\ B-\{B_1 \\ AB \end{cases}$	$\frac{88}{147}$	60.0	$\frac{59}{119}$	49.6	$\frac{31}{147}$	21.1	$\frac{55}{119}$	46.2	$\frac{23}{147}$	15.6	$\frac{2}{119}$	1.7
15	(B) — (B) — $\begin{cases} B_1 \\ B_2 \end{cases}$	$\frac{76}{179}$	42.5	$\frac{85}{197}$	43.1	$\frac{68}{179}$	38.0	$\frac{100}{197}$	50.8	$\frac{33}{179}$	18.4	$\frac{3}{197}$	1.5
16	(B) — $\begin{cases} A-A \\ B-B \end{cases}$	$\frac{59}{148}$	40.0	$\frac{56}{234}$	23.9	$\frac{28}{148}$	18.9	$\frac{111}{234}$	47.4	$\frac{51}{148}$	34.5	$\frac{52}{234}$	22.2

A. 高校普通科の教育課程改革の問題

17	(B)→(B)→ $\begin{pmatrix} A \\ B \end{pmatrix}$	$\frac{333}{497}$	67.0	$\frac{131}{213}$	61.5	$\frac{17}{497}$	3.4	$\frac{49}{213}$	27.0	$\frac{143}{497}$	28.8	$\frac{32}{213}$	15.0
18	(B)→ $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$	$\frac{74}{135}$	54.8	$\frac{35}{192}$	18.2	$\frac{56}{135}$	41.5	$\frac{107}{192}$	55.7	$\frac{5}{135}$	3.7	$\frac{50}{192}$	26.0
19	(B)→ $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$	$\frac{68}{172}$	39.5	$\frac{44}{205}$	21.5	$\frac{86}{172}$	50.0	$\frac{154}{205}$	75.1	$\frac{17}{172}$	9.9	$\frac{7}{205}$	3.4
20	(B)→ $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$	$\frac{5}{79}$	6.3	$\frac{8}{127}$	6.3	$\frac{68}{79}$	86.1	$\frac{103}{127}$	81.1	$\frac{6}{79}$	7.6	$\frac{16}{127}$	12.6
21	(B)→ $\begin{pmatrix} A \\ B \end{pmatrix}$ → $\begin{pmatrix} B_1 \\ B_2 \end{pmatrix}$	$\frac{186}{348}$	53.4	$\frac{77}{243}$	31.7	$\frac{88}{348}$	25.3	$\frac{124}{243}$	51.0	$\frac{61}{348}$	17.5	$\frac{3}{243}$	1.2

<知多地区>

学番 校号	教育課程の類型 ( )内は クラス数	進 学				就 職				OB (浪人)			
		m	%	f	%	m	%	f	%	m	%	f	%
22	(B)→ $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$ <sup>(2)</sup> <sub>(3)</sub>	$\frac{112}{176}$	63.6	$\frac{26}{92}$	28.3	$\frac{43}{176}$	24.4	$\frac{49}{92}$	53.3	$\frac{9}{176}$	5.1	$\frac{8}{92}$	8.7
23	(B)→B→ $\begin{pmatrix} A \\ B \end{pmatrix}$	$\frac{158}{203}$	77.8	$\frac{52}{69}$	75.4	$\frac{8}{203}$	3.9	$\frac{12}{69}$	17.4	$\frac{36}{203}$	17.7	$\frac{5}{69}$	7.2
24	(B)→ $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$	$\frac{45}{77}$	58.4	$\frac{27}{36}$	75.0	$\frac{21}{77}$	27.3	$\frac{8}{36}$	22.2	$\frac{11}{77}$	14.3	$\frac{1}{36}$	2.8
25	(B)→ $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$	$\frac{28}{102}$	27.5	$\frac{19}{135}$	14.1	$\frac{47}{102}$	46.1	$\frac{81}{135}$	60.0	$\frac{27}{102}$	26.5	$\frac{35}{135}$	25.9
26	(B)→B→ $\begin{pmatrix} B_1 \\ B_2 \\ B_3 \end{pmatrix}$	$\frac{280}{342}$	81.9	$\frac{148}{200}$	74.0	$\frac{21}{342}$	6.1	$\frac{52}{200}$	26.0	$\frac{41}{342}$	12.0	$\frac{0}{200}$	0

<表3>

愛知県（三河を除く）高校普通科のカリキュラム類型と進路状況

地 区 類 型	校 数	進 学 率 %		就 職 率 %		浪 人 率 %	
		m	f	m	f	m	f
① B→B→B	7	58.1 (56.2)	65.1 (58.0)	7.0 (1.9)	21.8 (15.2)	34.9 (41.1)	13.0 (26.8)
② B→B→ $\begin{pmatrix} A \\ B \end{pmatrix}$	4	66.0 (59.6)	54.8 (39.2)	4.7 (5.8)	26.7 (33.3)	29.3 (34.6)	18.5 (27.5)
③ B→ $\begin{pmatrix} A-A \\ B-B \end{pmatrix}$	15	45.3 (49.5)	27.4 (22.4)	34.5 (21.1)	57.5 (53.5)	20.2 (29.4)	15.1 (24.1)
計 及 び 平 均	26	56.5	49.1	15.4	35.3	28.1	15.6

( ) 内名古屋地区の平均